ZettaSuite マニュアル

システム・リカバリー

第 1.20 版

2020/09/07

Newtech

データで未来をつなぐ

変更履歴

版数	日付	内容
1.0	2020/08/03	初版
1.1	2020/08/25	システム・リカバリー(OS 再インストール） 改訂 ネットワーク・インタフェイス名変更方法 改訂 システム・リカバリー後のネットワーク設定 改訂 ライセンス適用 改訂 オンライン・アクティベーション 改訂 オフライン・アクティベーション 改訂
1.2	2020/09/07	システム設定ファイルのアップロード 追加

はじめに

本書に含まれる内容は予告なく変更される場合があります。

株式会社ニューテックは、本書に記載された製品の適合性、暗黙の保証、運用における損害、及び、本書の使用に関連した損害について責任を負いかねます。また、本製品は、日本国外、軍事目的、原子力設備で使用されないことを前提としております。

株式会社ニューテックは、本書に記載された製品へ記録されたデータについて、その消失・誤記録における責任を負いかねます。
(データのバックアップは、システム管理者の責任において実施が必要です。)

本書は、著作権によって保護された情報を含んでおり、本書のいかなる部分も、株式会社ニューテックの書面による許可の無いまま、コピー、再版、他言語への翻訳を行ってはいけません。

株式会社ニューテック
〒105-0013
東京都港区浜松町 2 丁目 7-19 KDX 浜松町ビル
http://www.newtech.co.jp

Copyright© 2020,Newtech Co.,Ltd. All rights reserved.

本書利用者の前提条件

本書は、コンピュータ装置の運用管理技術を有し、本書に記載された製品を利用するための、コンピュータ OS(基本ソフト)のインストール及びシステム変更の知識、及び、安全な運用や発生する問題を解決できる人を前提としています。

目次

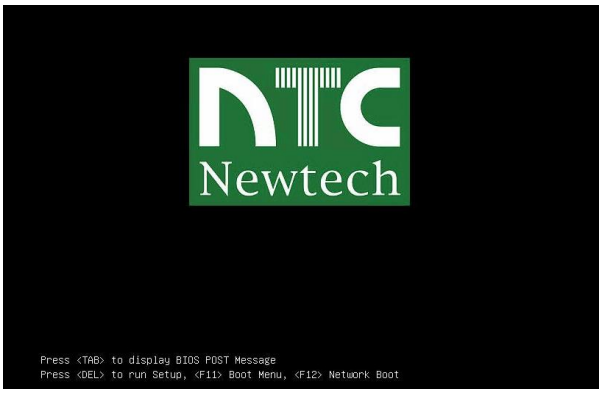
1. システム・リカバリー方法 1
1-1. システム・リカバリー(OS 再インストール) 1
1-2. ネットワーク・インターフェイス名変更方法 5
1-3. システム・リカバリー後のネットワーク設定 8
1-4. システム設定ファイルのアップロード 11
2. ライセンスの適用方法 13
2-1. ライセンス適用 13
2-2. オンライン・アクティベーション 15
2-3. オフライン・アクティベーション 18

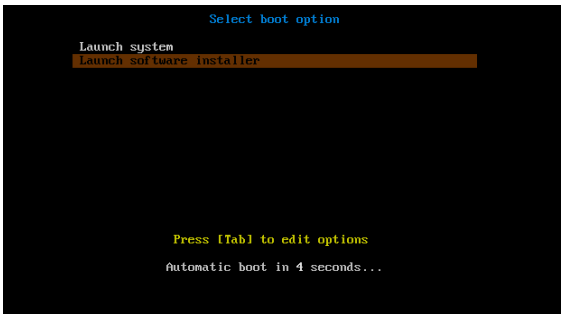
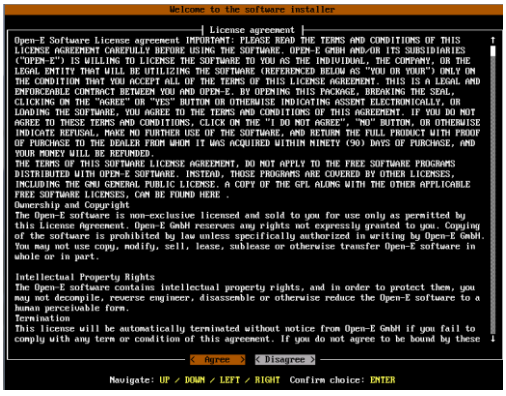
1. システム・リカバリー方法

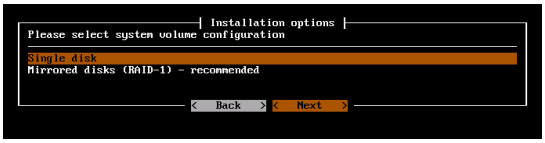
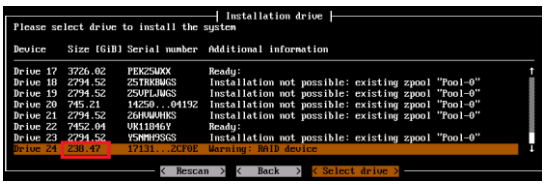
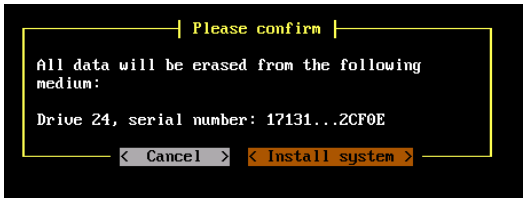
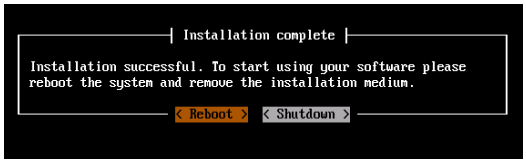
再インストールには、CDROM(または、DVDROM)を USB ポートに接続します。
弊社から提供しているインストールイメージ（iso イメージ）を焼いた CDROM で起動して、システムの再インストールすることで行います。

1-1.システム・リカバリー(OS 再インストール)

各ユーザーマニュアルをご確認の上、外付けの DVD-ROM もしくは BMC 経由でインストール・メディアから起動します。
システム・リカバリーは、JBOD を取り外したストレージ・コントローラに対して実行します。
JBOD との接続を外すことで、データディスクに対してシステムをリカバリーしてしまうオペレーションミスをするリスクをなくすことができます。また、多数の HDD が認識されている場合に、リカバリー先が表示されない可能性を排除できます。

	操作	表示例
1	ZetaSuite のストレージ・コントローラの電源を投入後、右の画面が表示されます。 この画面が表示している間に、「F11」キーを押下してください。	
2	しばらくすると、右の画面が表示されます。 「boot device」を矢印キー(→、←、↓、↑)を使って選択します。 ブートデバイスは接続されたUSB DVD ドライブを選択します。DVDドライブのメーカによって表示内容は異なります。 ※ 選択されたボタンは点滅します。 「CDROM」を選択し、「Enter」キーを押下します。	

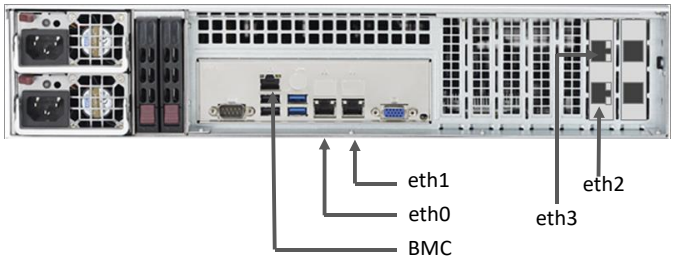
3	ZetaSuite の OS インストールイメージが起動されます。 しばらく待つと次の画面に移ります。	
4	右の画面に移ります。 「Launch software installer」が選択されています。 ここでもしばらくお待ちください。	
5	インストールイメージをロードしてきます。	
6	インストールイメージが起動されましたら、右の画面が表示されます。 内容を確認の上「Agree」を矢印キー(←、→)を使って選択します。 ※ 選択されている項目は、背景が橙色となります。 「Agree」を選択し「Enter」キーを押下します。	

7	インストール先のディスク構成を選択します。 ZetaSuite の起動ディスクは、シングル構成となっています。 ここでは「Single disk」を矢印キー(↓、↑)で選択します。 ※ 選択された項目は橙色の背景となります。 「Single disk」を選択し、「Next」を矢印キー(→、←)で選択し、「Enter」キーを押下します。	
8	次にインストールするディスクを選択します。 ※選択するディスクが不明の場合は、JBOD を取り外してから、再実行してください。 選択するディスクは右の様に、Size が 238.47GiB の RAID device ディスクを、矢印キー(↓、↑)を使って選択してください。 ※ 導入時期によってはサイズ変更があるかも知れません。一番小さいディスクを選択します。 ※「exiting zpool」表示があるディスクは選択しないでください。 ※ 選択された項目は橙色の背景となります。 インストール先のディスクを選択しましたら、「Select drive」を矢印キー(→、←)を使って選択し、「Enter」キーを押下します。	
10	確認のメッセージが表示されます。 内容を確認の上「Install system」を矢印キー(→、←)を使って選択し、「Enter」キーを押下します。 ※ 選択された項目は橙色の背景となります。	
11	該当のディスクに対して OS インストールが開始されます。	
12	インストールが成功しましたら、右のメッセージが表示されます。 「Reboot」を矢印キー(→、←)を使って選択し、「Enter」キーを押下します。	

13	システムが再起動されます。	

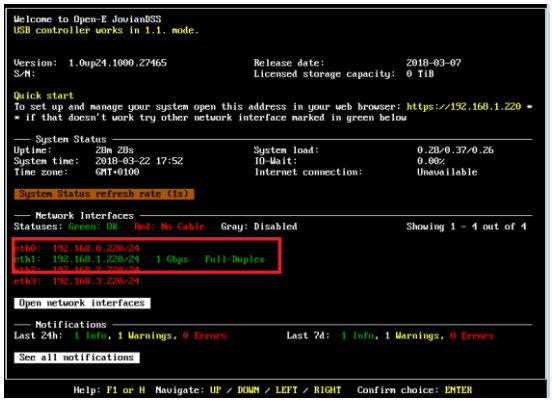
1-2.ネットワーク・インターフェイス名変更方法

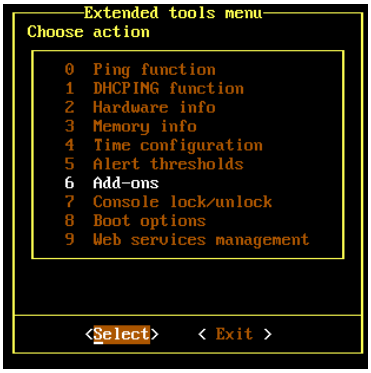
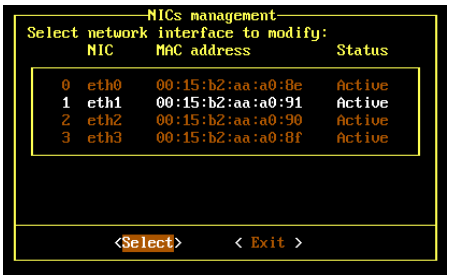
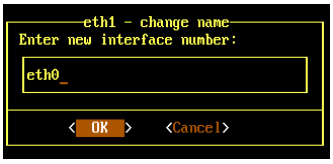
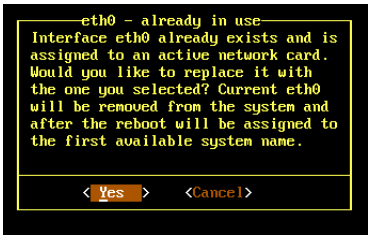
インストール後、ネットワーク・インターフェイスの名前(ethX)が元々設定した名前に設定されないことがあります。
ネットワーク・インターフェイスのデバイス名(ethX)を以下の図の順序になるように設定します。

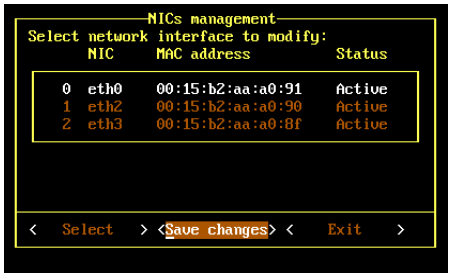
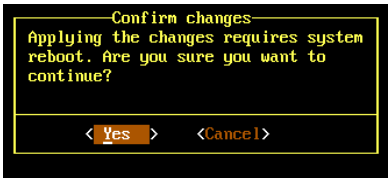
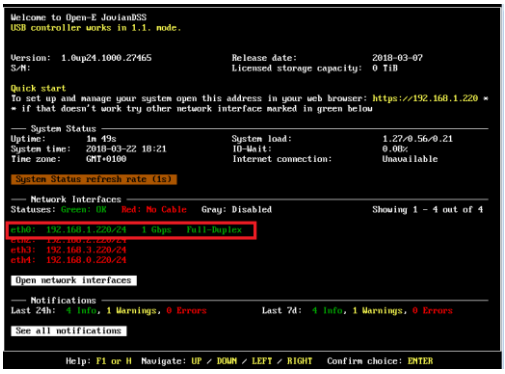
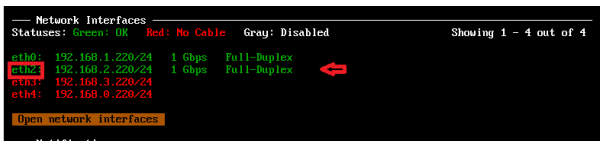


		ストレージコントローラー(ノード1),ストレージコントローラー(ノード2)
eth0	1GbE	
eth1	1GbE	
eth2	10GbE	
eth3	10GbE	
BMC	1GbE	BMCポートの設定および利用方法は、ZettaSutie ユーザーズマニュアルを参照ください。注意:ZettaSuiteOSのGUIには表示されません。

デバイス名が異なる場合は、以下の手順に沿ってデバイス名を修正(変更)してください。

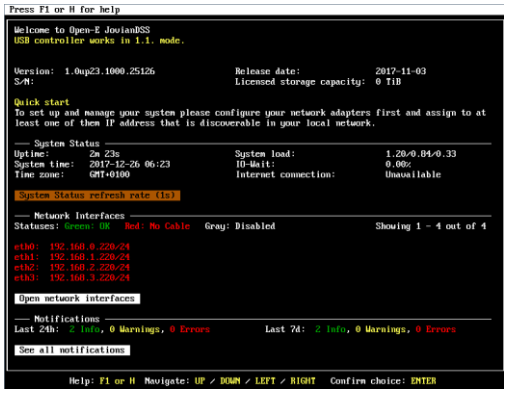
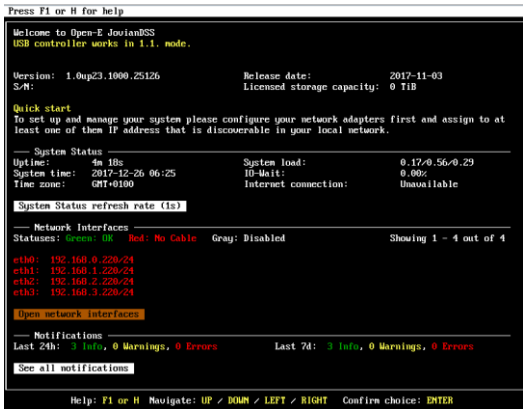
	操作	表示例
1	OS インストール直後、右の様に誤ったデバイス名で設定されることがあります。(ここでは、eth0 で設定されるはずが、eth1 で設定されています。) 「Ctrl」+「Alt」+「t」キーを同時に押下してください。	

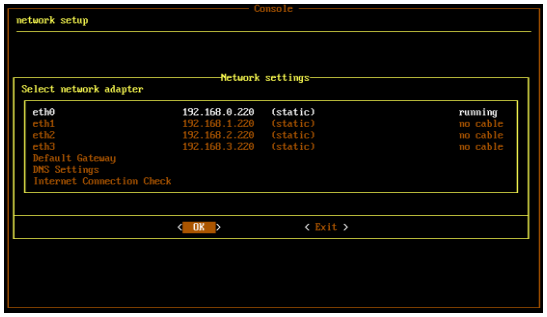
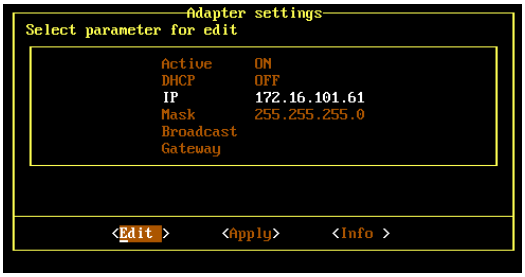
2	「Extended tool menu」に移動します。 矢印キー(↓もしくは↑)を使って、「6 Add-ons」を選択します。 その後に矢印キー(←もしくは→)を使って、「Select」を選択し「Enter」キーを押下します。 ※　選択されている項目は、白字で選択されていない項目は橙字で表示されます。	
3	「Add-ons」に移動します。 矢印キー(↓もしくは↑)を使って、「2 NICs management」を選択します。 その後に矢印キー(←もしくは→)を使って、「Select」を選択し「Enter」キーを押下します。	
4	「Add-ons」に移動します。 矢印キー(↓もしくは↑)を使って、「2 NICs management」を選択します。 その後に矢印キー(←もしくは→)を使って、「Select」を選択し「Enter」キーを押下します。	
5	「eth1」(該当デバイス名)に移動します。 矢印キー(↓もしくは↑)を使って、「0 Change name」を選択します。 その後に矢印キー(←もしくは→)を使って、「Select」を選択し「Enter」キーを押下します。	
6	「eth1 - change name」(該当デバイス名変更)のメニューに移動します。 枠内に変更後の名前を入力(ここでは eth0)し、その後に矢印キー(←もしくは→)を使って、「OK」を選択し「Enter」キーを押下します。	
7	変更しようとするデバイス名が既に存在していますので、右のアラートメッセージが表示されます。 内容を確認の上、矢印キー(←もしくは→)を使って、「Yes」を選択し「Enter」キーを押下します。	

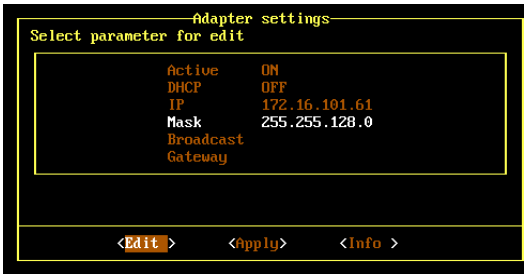
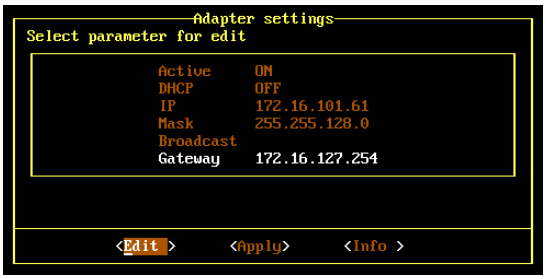
8	右の様にデバイス名が変更され、その変更により元々のデバイス名（ここでは旧 eth0）が削除されます。 矢印キー（←もしくは→）を使って、「Save changes」を選択し「Enter」キーを押下します。	
9	ネットワーク・インターフェイスのデバイス名を変更後、システムの再起動が必要となります。右の様にシステム再起動の許可を求めるメッセージが表示されます。 矢印キー（←もしくは→）を使って、「Yes」を選択し「Enter」キーを押下します。	
10	システムが再起動されます。	
11	再起動完了後、コンソール画面が表示されます。 該当のネットワーク・インターフェイスのデバイス名を確認してください。	
次に該当ノードの eth1 にネットワーク・ケーブルを接続します。		
12	右の様に、該当デバイスにネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認してください。 ※　ここでは eth1 ではなく異なったデバイス名で設定されているかと思います。 全ネットワーク・インターフェイスのデバイス名を正しい名前になるまで、項番 2 から項番 12 までの処理を繰り返してください。	

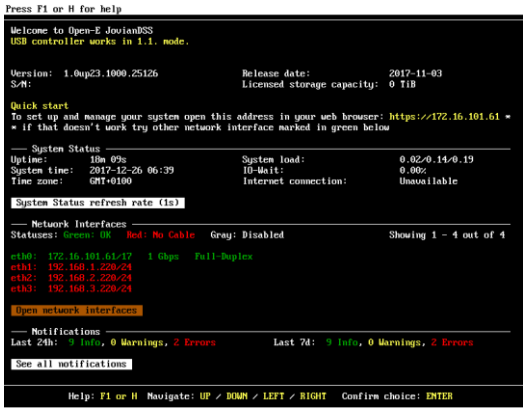
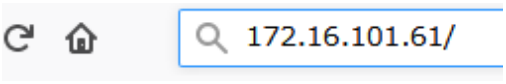
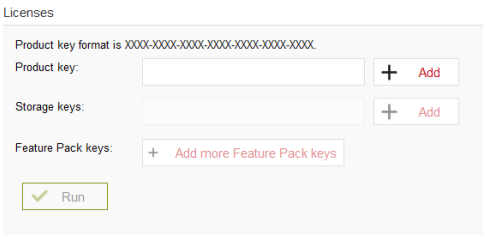
1-3.システム・リカバリー後のネットワーク設定

システム・リカバリー後に、ネットワークアドレスをコンソールから設定する場合は、以下の操作で実行します。

	操作	表示例
1	起動後、右の様にコンソールが表示されます。 ※ 現在、全てのネットワークが抜線されています。その為、ネットワークの表示は全て赤文字で表示されます。	
2	WebGUI 用のネットワーク(eth0)を接続します。 接続できましたら右の様にメッセージが表示されます。	
3	コンソール上の表示は未だ赤文字(ネットワークケーブルが外れている)となっていますが、これは表示が更新されていないだけです。 矢印キー(↓もしくは↑)を使って、「Open network interface」を選択します。 ※ 選択された場合は、右図の様に橙色の背景で黒字の文字で表示されます。選択されていないメニューは白地に黒文字で表示されます。 選択しましたら、「Enter」キーを押下します。	

4	Network settings のメニューに移動します。 右の様に認識されているネットワーク・インターフェイス(eth0 – eth3)一覧が表示されます。 ※　ネットワーク・インターフェイスのステータスで「running」と表示されている場合は、ネットワーク・ケーブルが接続されています。接続されていない場合は、「no cable」の表示となります。 矢印キー(↓もしくは↑)を使って、設定するネットワーク・インターフェイスを選択し、「Enter」キーを押下します。 選択されている項目は、白字で選択されていない項目は橙字で表示されます。	
5	Adapter Settings のメニューに移動します。 矢印キー(↓もしくは↑)を使って、「IP」を選択し、「Enter」キーを押下します。 ※　選択されている項目は、白字で選択されていない項目は橙字で表示されます。	
6	右の画面が表示されましたら、「Delete」キーを押下していき、既存の IP アドレスを削除します。 その後、IP アドレスを入力してください。 入力後は「Enter」キーを押下します。	
7	次に、ネットマスクの設定を行います。 矢印キー(↓もしくは↑)を使って、「Mask」を選択し、「Enter」キーを押下します。 ※　選択されている項目は、白字で選択されていない項目は橙字で表示されます。	

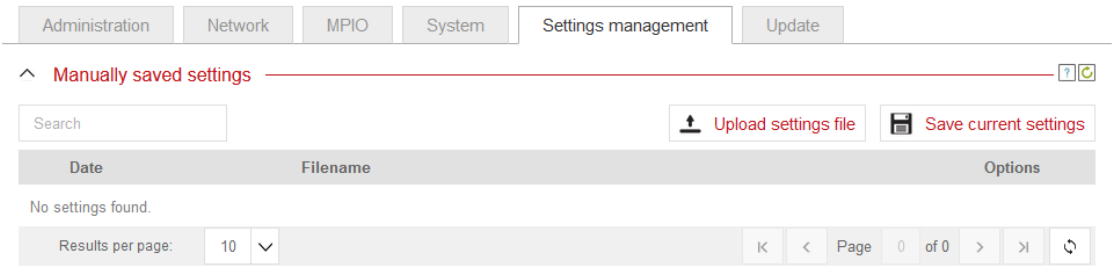
8	右の画面が表示されましたら、「Delete」キーを押下していき、既存のネットマスクを削除します。 その後、ネットマスクを入力してください。 入力後は「Enter」キーを押下します。	
9	次に、デフォルトゲートウェイの設定を行います。 矢印キー(↓もしくは↑)を使って、「Gateway」を選択し、「Enter」キーを押下します。 ※　デフォルトゲートウェイの設定が不要の場合は、項番 10 へスキップしてください。 ※　選択されている項目は、白字で選択されていない項目は橙字で表示されます。	
10	右の画面が表示されましたら、デフォルトゲートウェイの IP アドレスを入力してください。 入力後は「Enter」キーを押下します。	
11	設定が完了しましたら、矢印キー(→もしくは←)を使って、「Apply」を選択し、「Enter」キーを押下します。	
12	矢印キー(→もしくは←)を使って、「Exit」を選択し、「Enter」キーを押下します。	

13	メイン画面に移動します。 他のネットワーク・ケーブルもこの時点で接続してください。	
14	Web ブラウザーに https://<設定された IP アドレス>/ を入力することで管理・操作が実施できます。 ※ デフォルトの https のポートは 443 です。	 ※ 上記の IP アドレスは単なる 1 例です。実際に設定した IP アドレスを入力してください。
15	ライセンスの入力画面が表示されます。 「ライセンスの適用方法」を参照してください。	

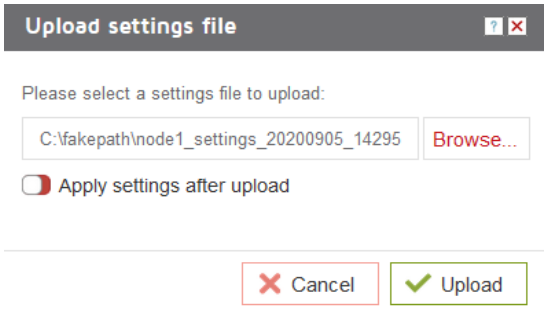
1-4.システム設定ファイルのアップロード

「OS システム・リカバリー」、および、「ネットワーク・インターフェイス名」の設定が完了した後、事前に保存していたシステムの設定ファイル(saved setings)を適用することで、システム構成の復旧を行うことが可能です。

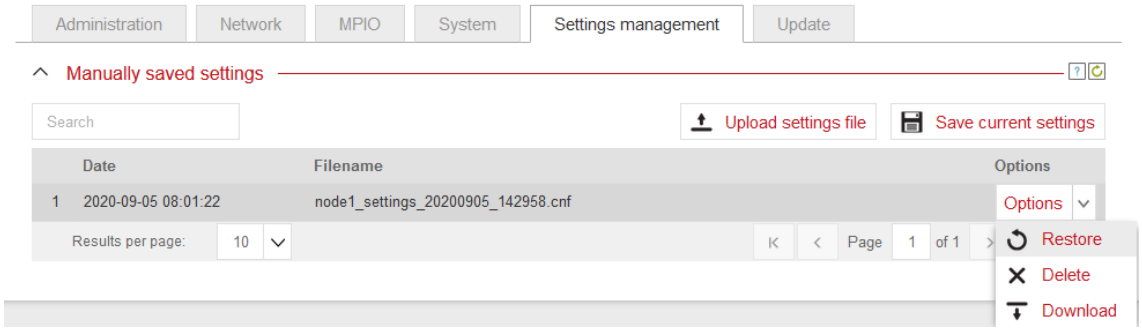
1.「System Settings」から、「Settings management」を選択します。
「Upload settings file」を選択します。



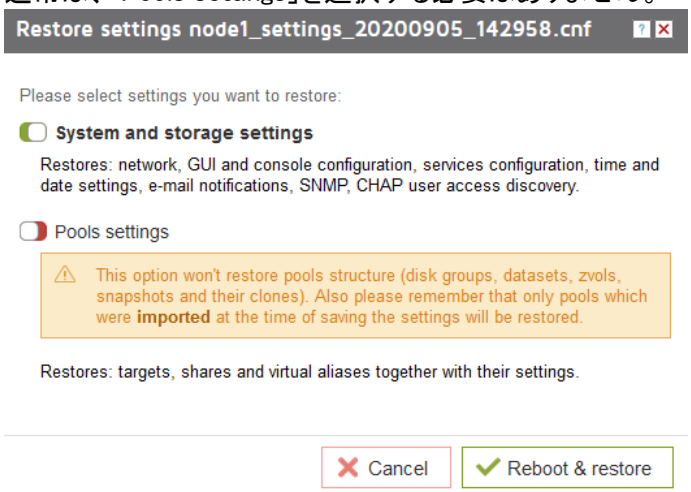
2.Uppload settings file の画面が表示されます。(Apply settings after upload を ON にした場合は、3 の操作が、スキップされます。



3.アップロードされたファイルの「Date」と「Filename」が表示されます。
アップロードされたファイルを確認して、「Options」から「Restore」を選択します。



4.ストレージコントローラーの設定をリカバリする際は、「System and storage settings」を有効にします。
通常は、「Pools settings」を選択する必要はありません。

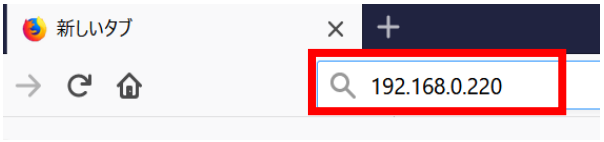
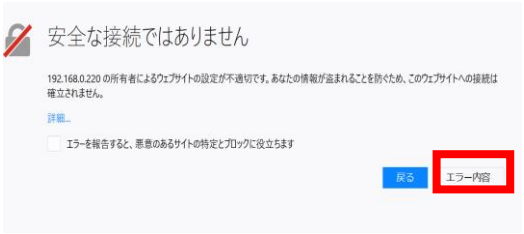
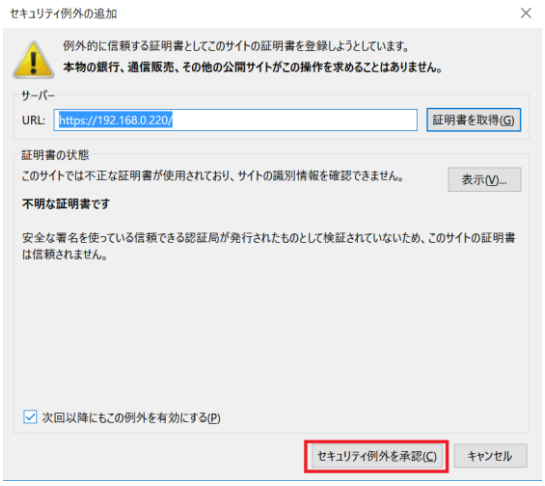


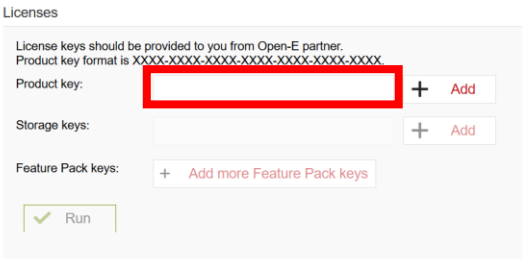
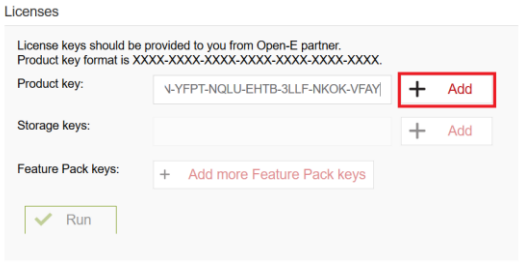
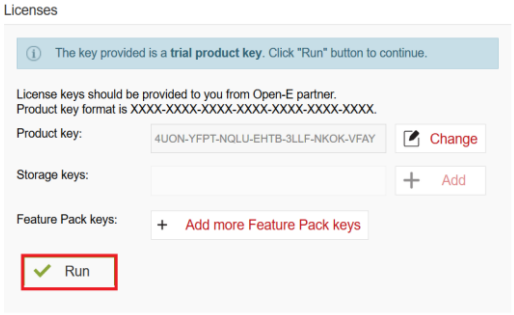
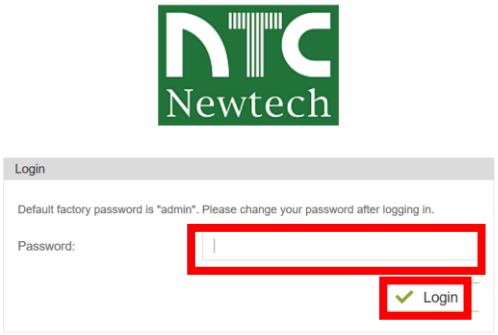
「System and storage settings」:ネットワーク、GUI およびコンソール設定、サービス設定、日時設定、電子メール通知、SNMP、CHAP ユーザーアクセス検出。
「Pools settings」:このオプションは、プールの構造(ディスク グループ、データセット、Zvols、スナップショット、およびそれらのクローン)を復元しません。また、設定を保存した時点でインポートされたプールのみが復元されます。iSCSI ターゲット、共有(Share)、仮想エイリアス(VIP)とその設定をリストアします。

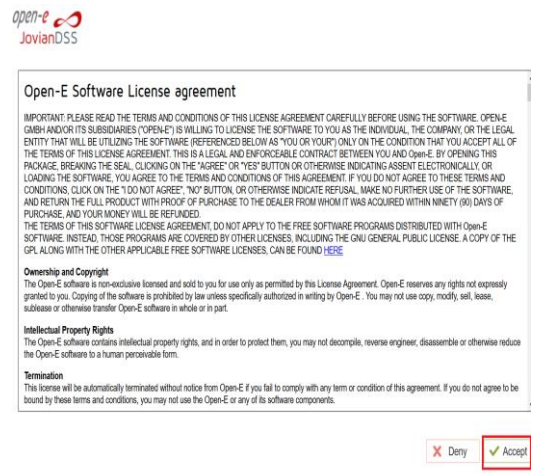
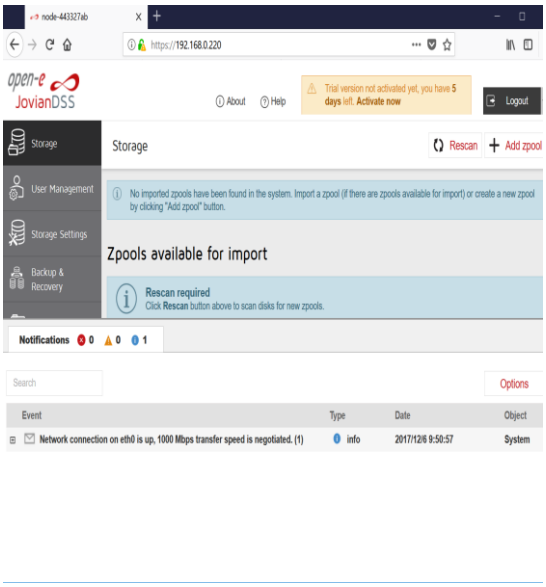
5. 設定を反映させるためには、リブートします。

2. ライセンスの適用方法

2-1.ライセンス適用

	操作	表示例
1	Web ブラウザーを開き、 URL 欄に https://<設定された IP アドレス>/ と入力し、「Enter」キーを押下します。 右の画面が表示されますので、「エラー内容」をクリックします。	 ※ 上記の IP アドレスは単なる 1 例です。実際に設定した IP アドレスを入力してください。 
2	右の様な表示がされますので、内容を確認の上、「例外を追加」ボタンをクリックします。	
3	「セキュリティ例外の追加」が表示されます。 「セキュリティ例外を承認」ボタンをクリックします。	

4	ログイン初回時には、右の画面が表示されます。 ライセンス証書（もしくは Newtech からライセンスの案内）にある Product key を入力します。	
5	Product Key の入力が完了しましたら。 「+ Add」ボタンをクリックしてください。	
6	Product Key の登録が完了しましたら、「Run」ボタンをクリックします。	
7	ログイン画面が表示されます。 パスワードを入力(デフォルトは admin)し、「Login」ボタンをクリックします。	

8	初めてログインした直後、右の画面が表示されます。 内容を確認の上、「Accept」ボタンをクリックします。	
9	WebGUI 画面が表示されます。	

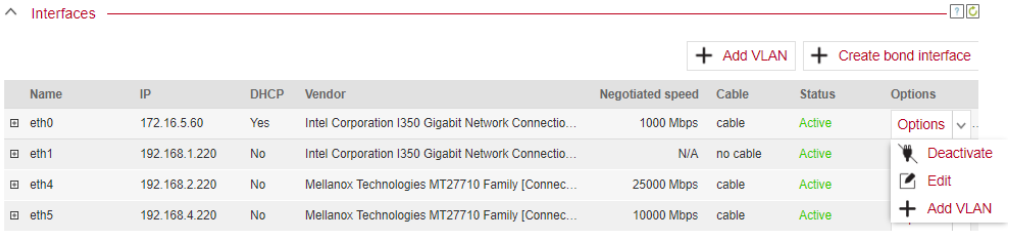
2-2.オンライン・アクティベーション

インターネットに接続できている環境の場合は、このオンライン・アクティベーションを使い、ライセンスのアクティベーションを実施します。

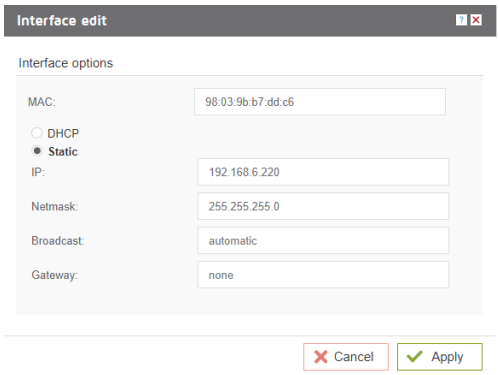
ネットワークアドレスの設定とゲートウェイの設定が必要になります。

ネットワークアドレスの設定方法
[System Settings] → [System]→ [Interfaces] を選択します。

利用可能なすべてのネットワークインターフェイス（ボンドを含む）に関する情報を表示できます。

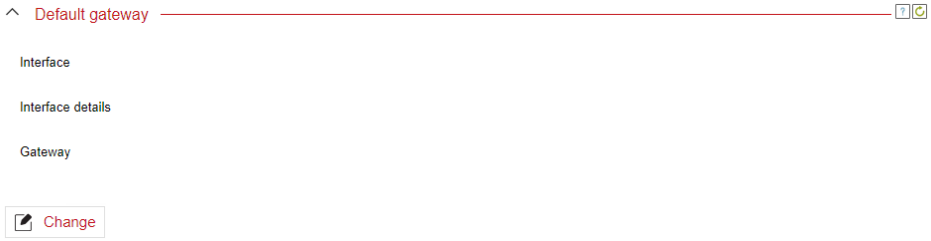


Interface edit で、DHCP / Static の設定と、IP、Netmask、Broadcast、Gateway の設定ができます。

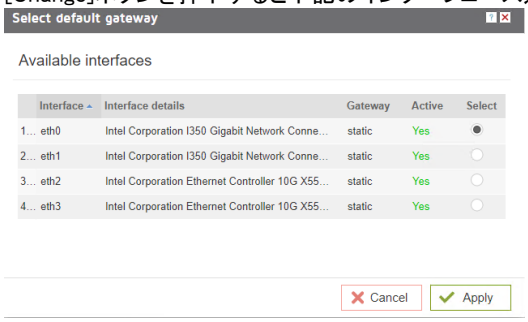


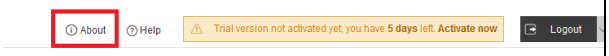
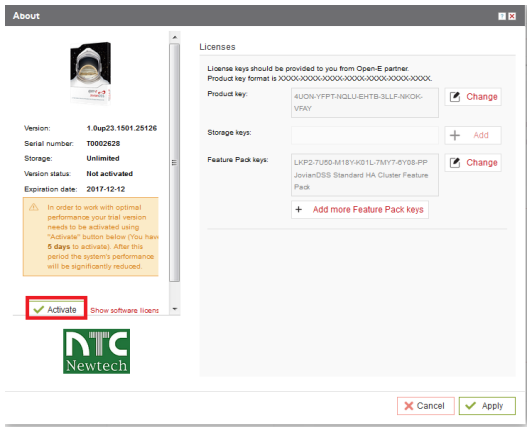
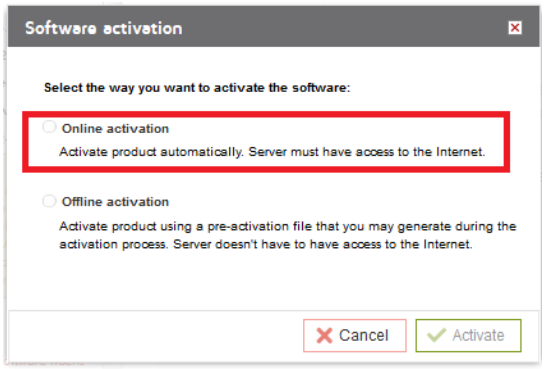
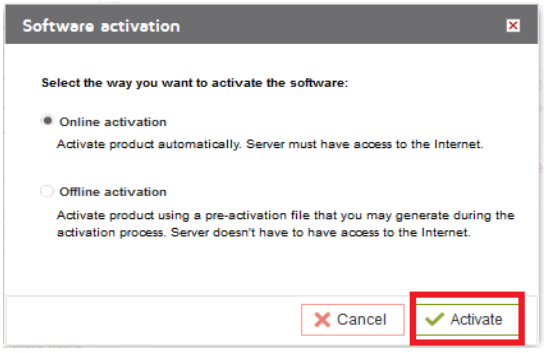
[System Settings] → [Network]→ [Interfaces] を選択します。
ここでは、デフォルトゲートウェイが設定されているかどうか、およびどのインターフェースに設定されているか、およびこのインターフェースに静的または動的（DHCP）IP アドレスが設定されているかどうかを確認できます。

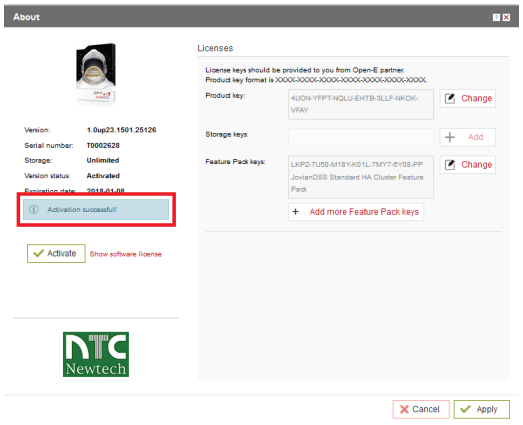
下記のようなインターフェースが空欄表示の場合、設定されておりません。



[Change]ボタンを押下すると下記のインターフェース選択が表示されます。

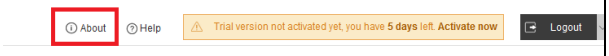
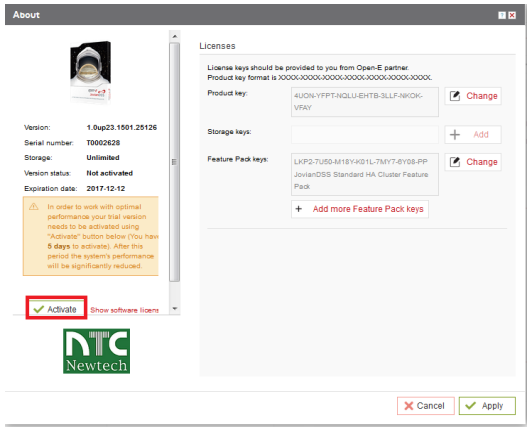
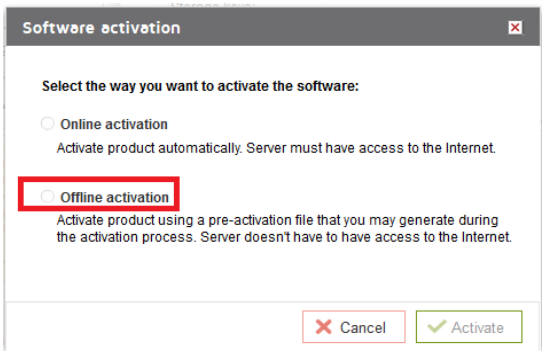


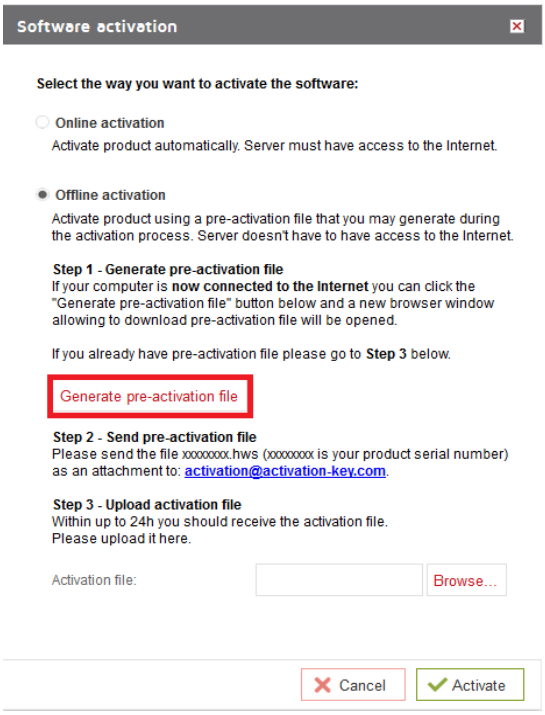
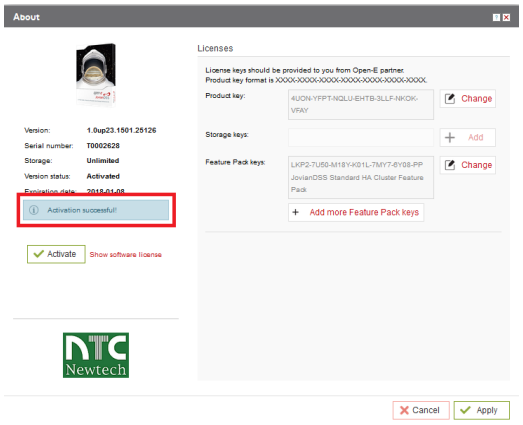
	操作	表示例
1	WebGUI でログイン後、ⓘ About をクリックします。	
2	右の画面が表示されます。 「Activate」をクリックします。	
3	「Online activation」をクリックします。 ※ オンライン・アクティベーションを実施する場合、ネットワークの設定（デフォルトゲートウェイ、DNS 等）に誤りがある場合、アクティベーションできませんのでご注意ください。	
4	「Online activation」選択後、「Activate」ボタンをクリックします。	

5	アクティベーションが完了した場合、右の画面の様に「Activation successful !」が表示されます。 もし、オンライン・アクティベーションが失敗する場合は、ネットワークの IP アドレス、デフォルトゲートウェイに設定されている NIC、そして DNS が正しく設定されているかをご確認ください。 設定等問題がな場合は、「オフライン・アクティベーション」の項目を確認の上、オフラインでのアクティベーションを実施してください。	

2-3.オフライン・アクティベーション

インターネットに接続できていない環境の場合は、このオフライン・アクティベーションを使い、ライセンスのアクティベーションを実施します。

	操作	表示例
1	WebGUI でログイン後、About をクリックします。	
2	右の画面が表示されます。 「Activate」をクリックします。	
3	「Offline activation」を選択します。	

4	右の画面が表示されます。 1）「Generate pre-activation file」をクリックし、pre-activation ファイルを接続している PC にダウンロードしてください。 2）取得した、pre-activation ファイル(hws ファイル)を E-mail を使い activation@activation-key.com 宛に送ってください。(その場合、件名、本文は不要です。) 3）24 時間以内で、activation ファイルが届きますので、「Activation file」の項目にある「Browse」ボタンをクリックし、送られてきたファイルをアップロードします。 最後に「Activate」ボタンをクリックします。	
5	アクティベーションが完了した場合、右の画面の様に「Activation successful !」が表示されます。	

株式会社ニューテック

〒105-0013

東京都港区浜松町 2 丁目 7-19 KDX 浜松町ビル

http://www.newtech.co.jp

Copyright© 2020,Newtech Co.,Ltd. All rights reserved.